

第21回年次大会 第15期後半期スタート 地域社会に活動領域に結集し

“労働組合”として役割を再認識しよう

10月29日、利根沼田文化会館で第21回年次大会を開催し、代議員・特別代議員など250名が参加しました。

冒頭、富澤会長より「昨年の大会で『連合運動が役割と責任を果たし活躍するフィールドは地域社会にある』と挨拶をさせてもらいましたが、もう一度私たち労働組合としての役割を認識したいとの思いです。それぞれの産業や企業における労働組合の置かれた環境や抱える課題から、自らの組合活動の軸足を置かざるを得ず、このことに集中することによって、勤労者として地域社会に対する労働機能のもう一つの役割を見失いがちになっているかもしれません。労働組合のパワーを地域社会という共通の活動領域に結集し、地域社会の中で労働組合の存在を示していかないと企業内の労働組合の存在さえ社会や組織内からも理解が得られないのではないのでしょうか。皆さんと共に再認識し、これからの活動を更に邁進しましょう。」と挨拶がありました。



議事では、昨年の定期大会で決定された活動方針を基に第15期前半期の活動を総括し、また、後半期はこれまでの活動項目を基軸に、地協統合後1年が経過したことを踏まえ、新たに発生した課題を整理し地協活動の活性化に向けた取り組みや衆議院解散総選挙など各級自治体選挙に対して、連合群馬総力を結集して取り組むなど、補強を踏まえた方針について、満場一致で確認されました。

また、執行部について、金子事務局次長が退任し、田村副事務局長が新たに選出されるなど、7名の役員交代が確認されました。

■ご来賓の方々によりご挨拶をいただきました（抜粋）



群馬県
大澤知事

人口減少対策が喫緊の課題となり、将来を担う若年人材の確保が困難になるなど影響が懸念されます。人口減少対策を土台に据えた新総合計画を本年度からスタートさせ、新たな雇用創出、女性や若者の活躍応援など、群馬を更に大きくはばたかせ、魅力あふれる群馬を実現するため、県政に対し、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。



連帯挨拶をいただいた（左から）
黒沢議員懇代表、宮崎衆議院議員
長谷川・不破衆議院議員候補予定者



群馬県経営者協会
八木会長

地協再編成という大きな改革を実行し、新しい体制のもと、邁進されるものと思います。連合群馬と経営者協会は非常に安定的で良好な労使関係を保っております。更なる価値ある関係を築き上げ、次の世代に受け継ぐものとして襟を正していかなければなりません。今後ともご支援とご協力を宜しくお願いいたします。



群馬労働局
半田局長

働き方改革、人材の確保、労働生産性の向上などと雇用関係のキーワードは増加しております。安心して働き、喜んで生活できる群馬の実現や活力ある群馬にするために、連携を一層密にして全力で取り組みます。また群馬労働局としては率直な意見交換を実施し、直面する課題に対応してまいりたいと思います。



議事進行にご協力いただきました三木代議員（自治労）と新平代議員（基幹労連）



6年間のご尽力に感謝の意を込めて会長より金子前事務局次長へ感謝状贈呈



執行委員など19年間歴任した鈴木前執行委員

退任された役員 敬称略

前事務局次長	金子 裕昭（電機連合）	前執行委員	伊藤 誠（基幹労連）
前執行委員	鈴木 英二（JAM）	前執行委員	狩野 清美（女性委員会）
前執行委員	齋藤 孝昭（北部地協）	前会計監査	鈴木 芳孝（森林労連）
前会計監査	浅沼 翔太（全労金）		



地域から頼りにされる地協を目指して… 地協年次総会各地で開催！

各地協は10月29日の連合群馬年次大会を踏まえ11月11日の北部地協を皮切りに年次総会を開催しました。総会では前半期の活動経過報告をはじめ、地域に根差した活動の更なる推進に向けた後半期の活動計画を提案し全体で確認しました。連合群馬が目指すべき姿として掲げる「すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現」に向けて、地協と県連合一体となって運動を着実に実行していきます。



後半期活動スタート



新たに議長に就任した福島氏（桐生地協）



渡辺北部地協議長挨拶



連合群馬活動方針を説明する田村副事務局長（高崎地協）

連合平和根室派遣団

北方領土返還を目指して…

連合群馬では、9月10日～12日にかけて北海道根室で開催された連合平和集会へ8名の団派遣を行いました。今回は参加者を代表して2名の方から感想を伺いました。

肉眼で確認出来る北方四島が不法に占拠され、71年経った今でも続いています。島を追われた人は17000人、



その人たちも高齢となり故郷へ帰る事も出来ず他界された方も年々増加していると元島民の訴えで聞き、戦争の被害を改めて感じました。今回参加させて頂き、北方領土返還運動の平和行動を、職場の仲間・地域・次世代の子どもたちに伝え、悲劇を繰り返さないため共有していくことの意義を再認識しました。



一番左が玉川さん、右から二番目が神藤さん

電力総連 東京電力労組 玉川 猛さん

「働きがいのある人間らしい仕事」を 実現しよう！

10月11日高崎ハローフォーラムにてディーセントワーク世界行動デー群馬県集会を開催しました。240名を超える参加者のもと、集会では長時間労働などをテーマに、頭土のぞ美 全日通労組執行委員（運輸労連）・小川あきら群馬県議からのアピールリレーを行い、集会後には参加者全員で高崎駅周辺でのアピールウォークを実施し世論喚起を行いました。



北方領土については、「返還に向けてロシアと交渉をしている」程度の知識しかありませんでしたが、元島民の方の「島へ戻りたい」という生の声、快晴の中肉眼で確認できる島々、実際に現地で見えて聞いて学べたことで、北方領土問題について改めて深く考えさせられました。一日でも早く元島民の皆さんと、現在住者が納得できる形で四島が返還されればと思います。

電機連合 パナソニックAP空調冷設機器労組

神藤 優太さん